

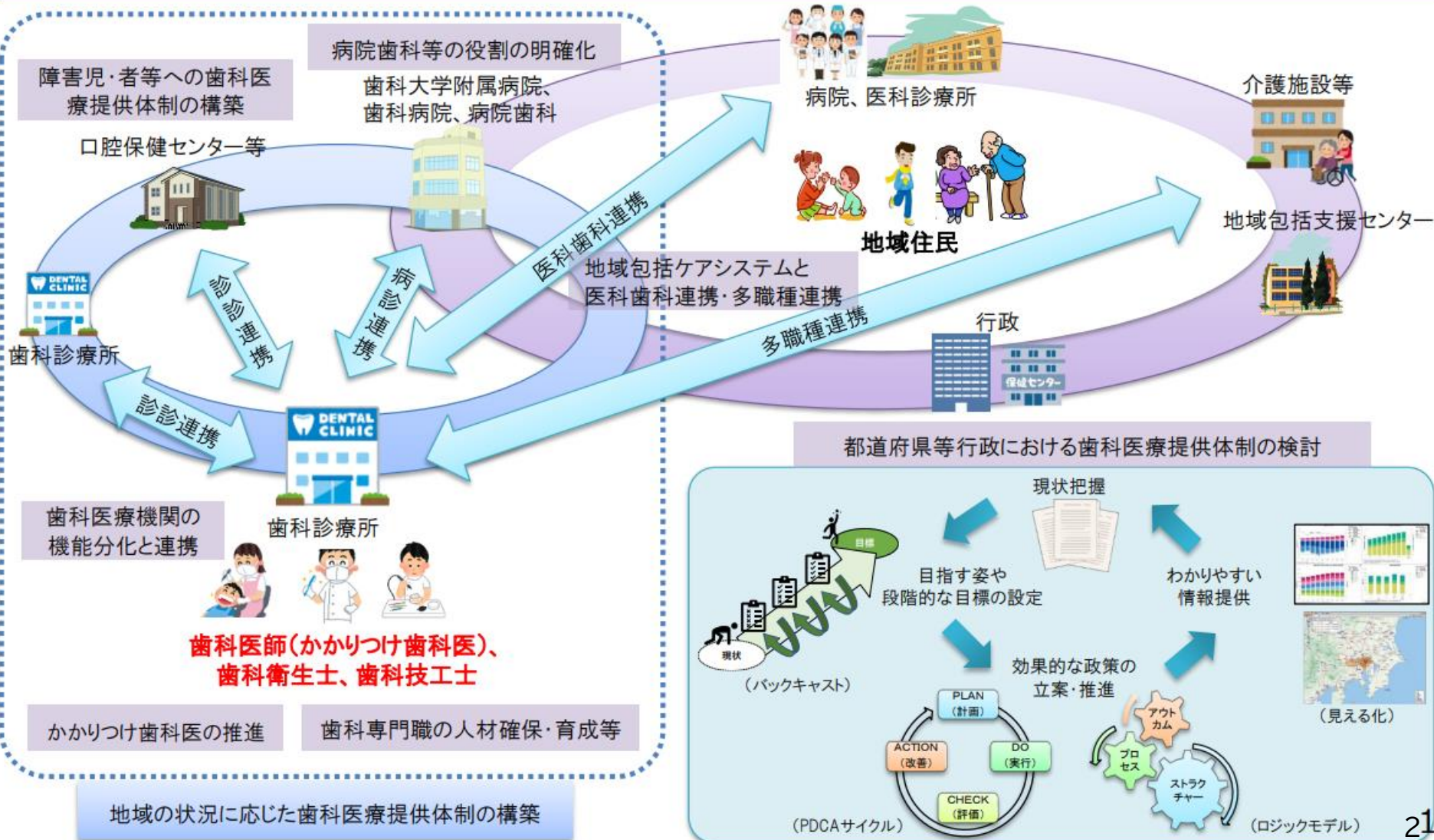
令和6年5月22日(水)

第3回新たな地域医療構想等に関する検討会

新たな地域医療構想に望むこと

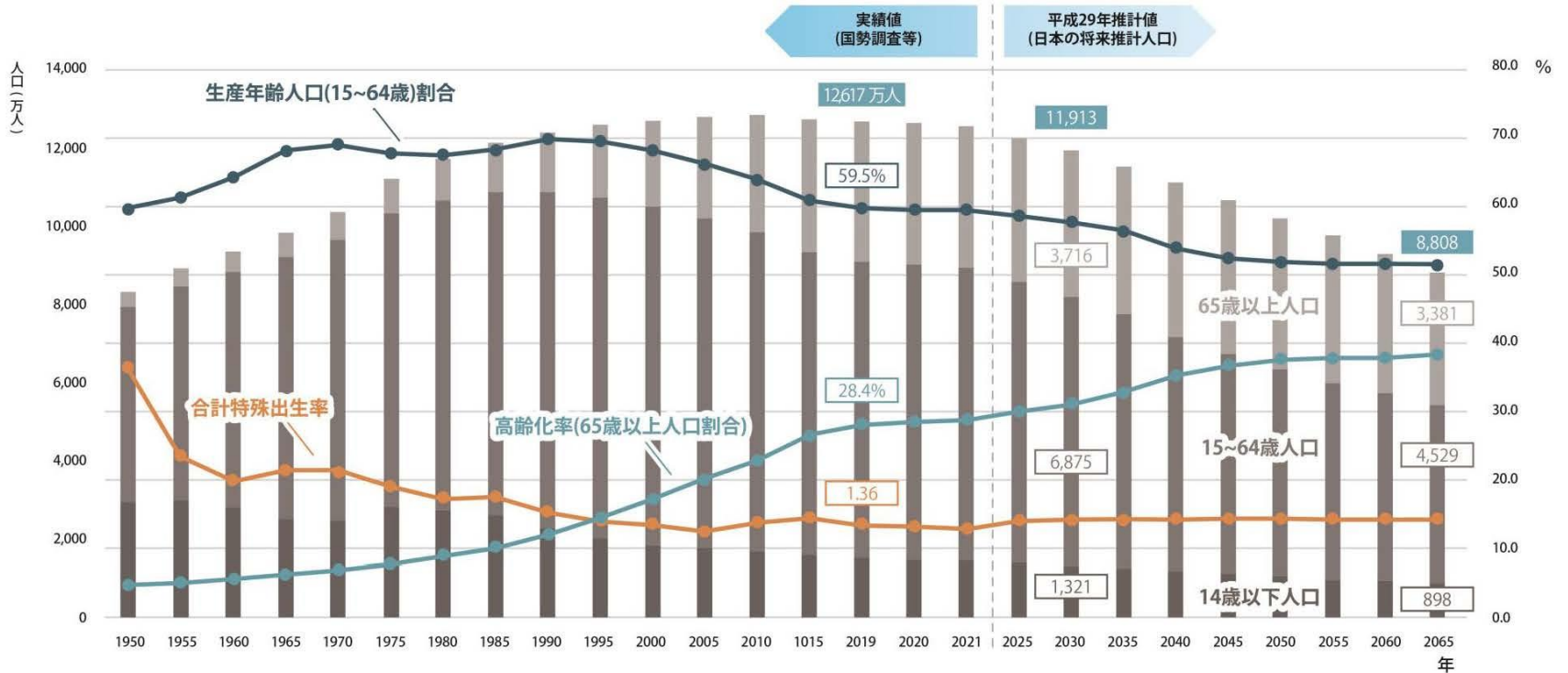
公益社団法人 日本歯科医師会
専務理事 瀬古口 精良

- 少子高齢化による人口構成の変化や歯科疾患の罹患状況の変化、医療や介護等における歯科保健医療に対するニーズの多様化などにより、歯科保健医療を取り巻く状況が大きく変化している状況に対応するため、歯科医療の質の向上を図るとともに、地域の状況に応じた歯科医療提供体制を構築することが求められている。
- これらを踏まえ、歯科医療の提供体制の構築等に関する必要な事項について、総合的に議論を行い、とりまとめられたもの。



日本の人口の推移

○ 日本の人口は近年減少局面を迎えている。2065年には総人口が9,000万人を割り込み、高齢化率は38%台の水準になると推計されている。

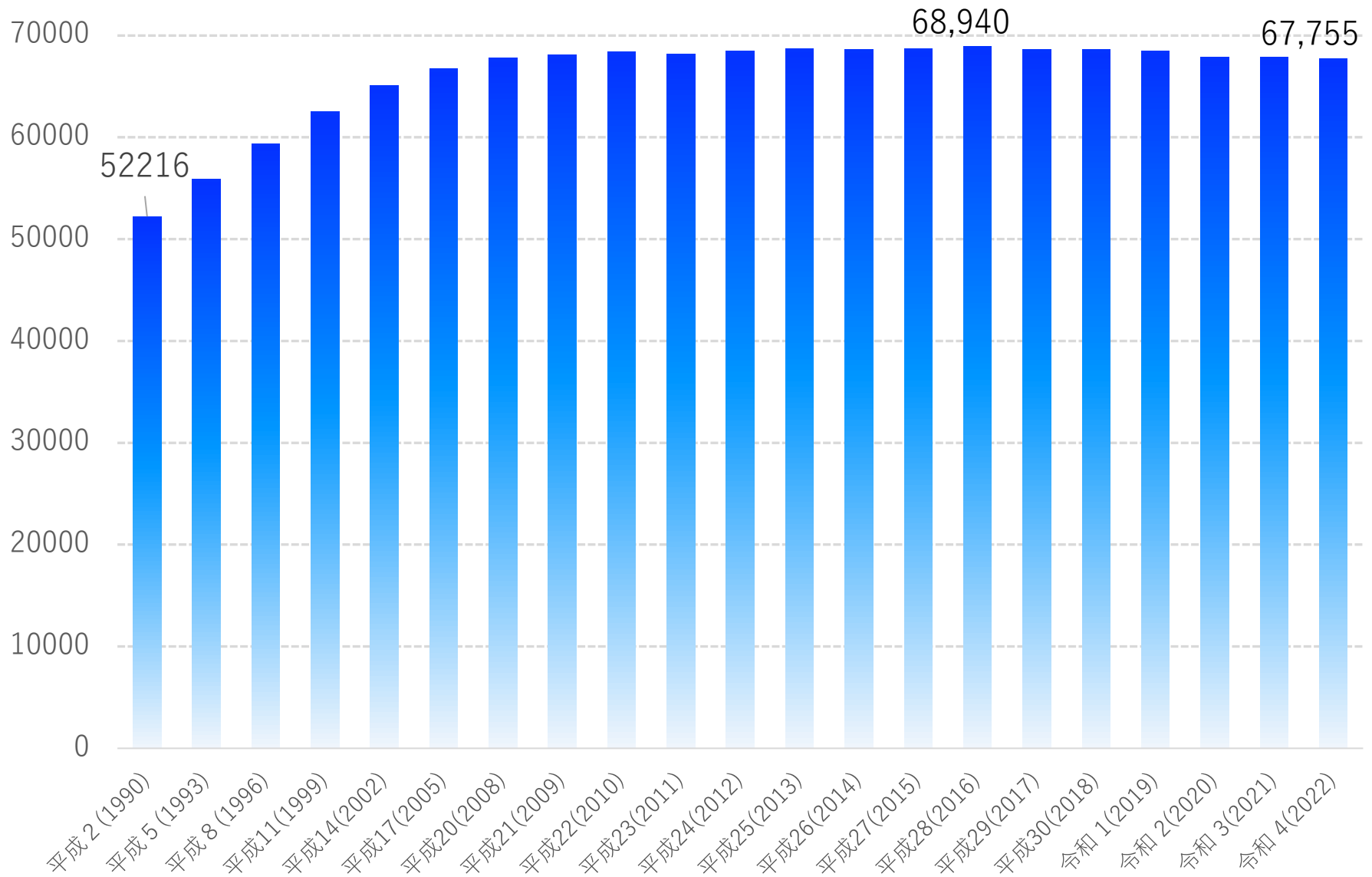


	2015年	2020年	2025年	2055年
65歳以上高齢者人口 (割合)	3,387万人 (26.6%)	3,603万人 (28.6%)	3,677万人 (30.0%)	3,704万人 (38.0%)
75歳以上高齢者人口 (割合)	1,632万人 (12.8%)	1,860万人 (14.7%)	2,180万人 (17.8%)	2,446万人 (25.1%)

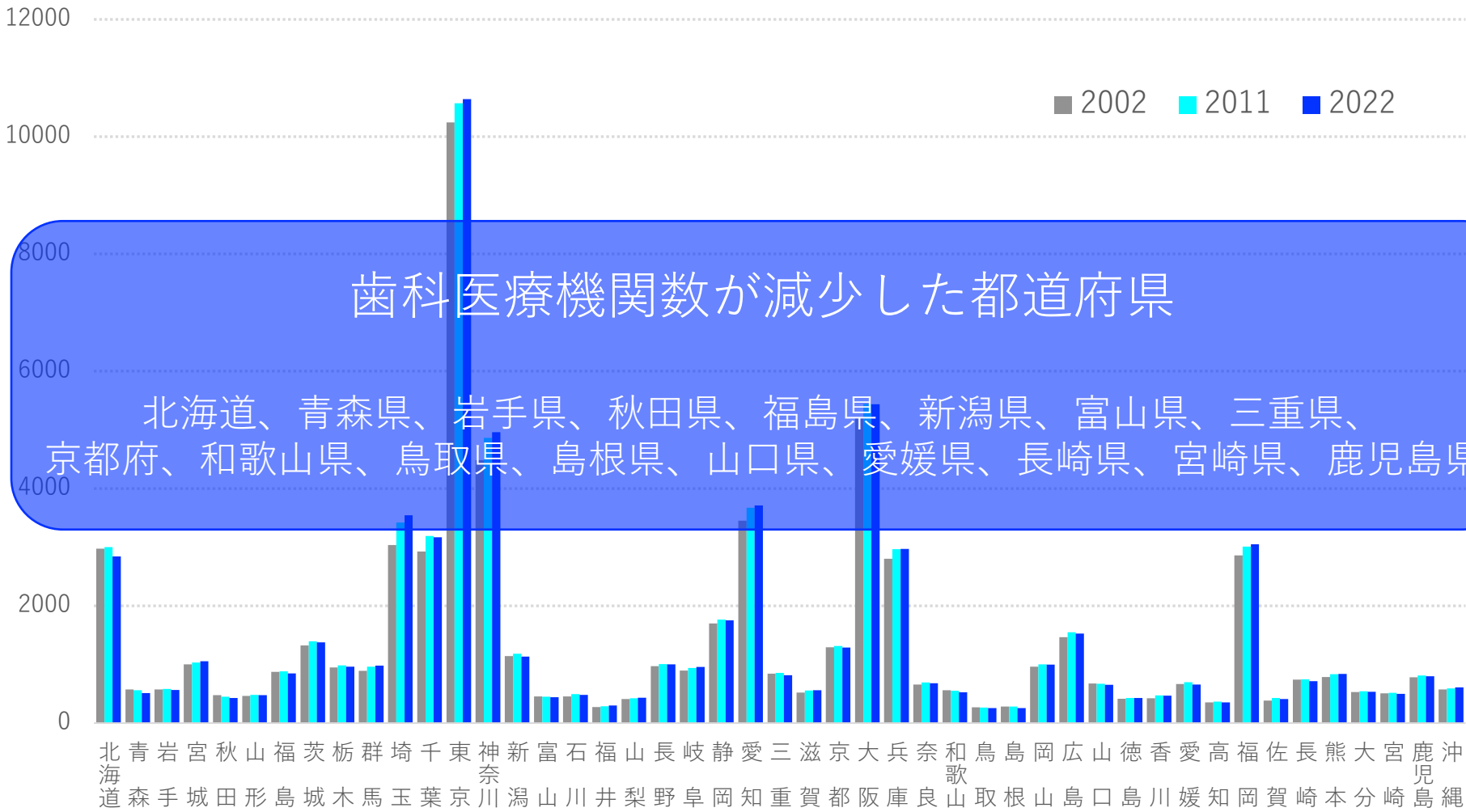
出典

2021年までの人口は総務省「人口推計」（各年10月1日現在）、高齢化率および生産年齢人口割合は、2021年は総務省「人口推計」、それ以外は総務省「国勢調査」
 2021年までの合計特殊出生率は厚生労働省「人口動態統計」
 2025年以降は国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口（平成29年推計）：出生中位・死亡中位推計」

歯科医療機関数の推移について



都道府県別歯科医療機関数の推移について

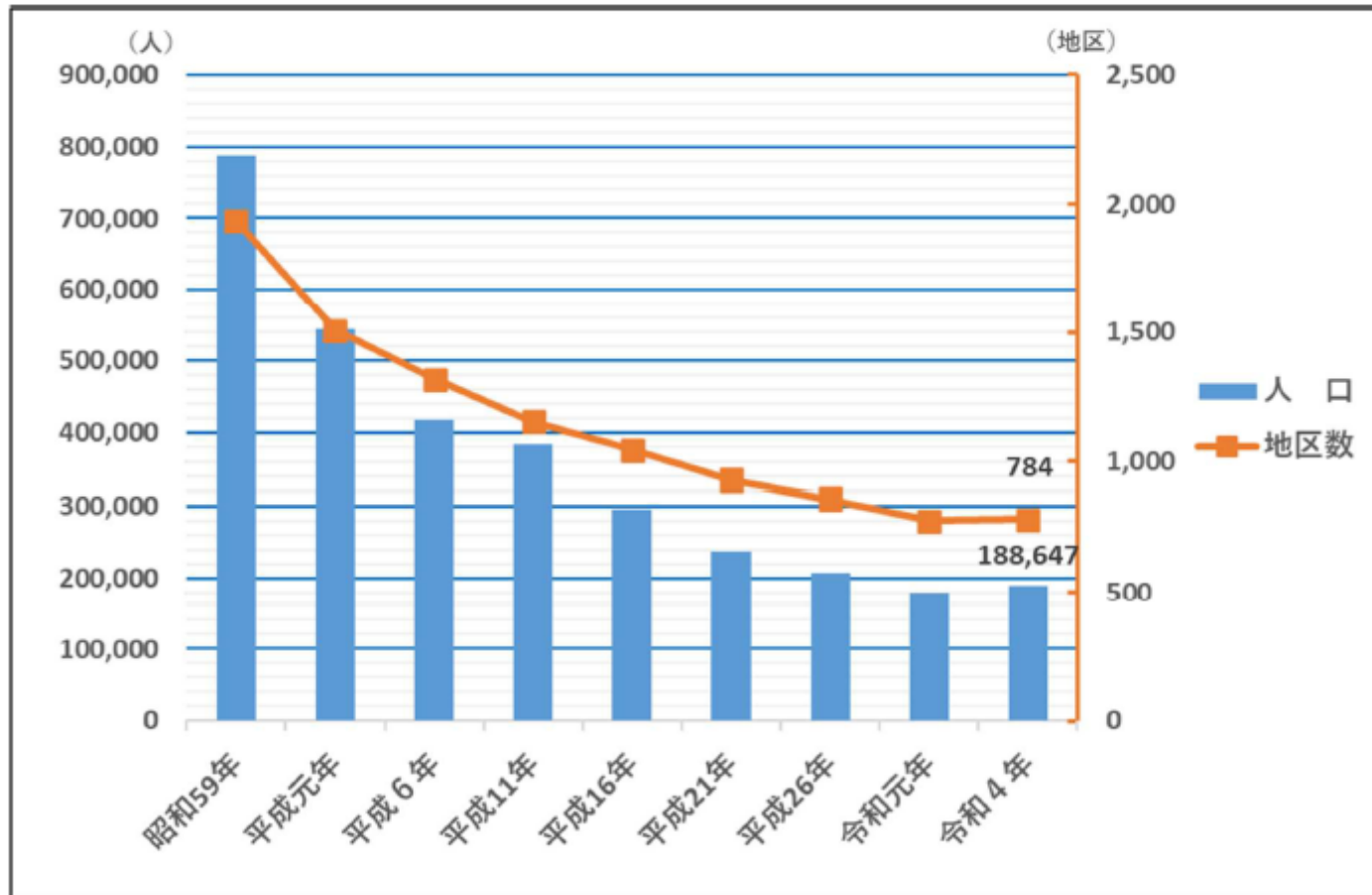


歯学部が設置されている都道府県の歯科医療機関数について

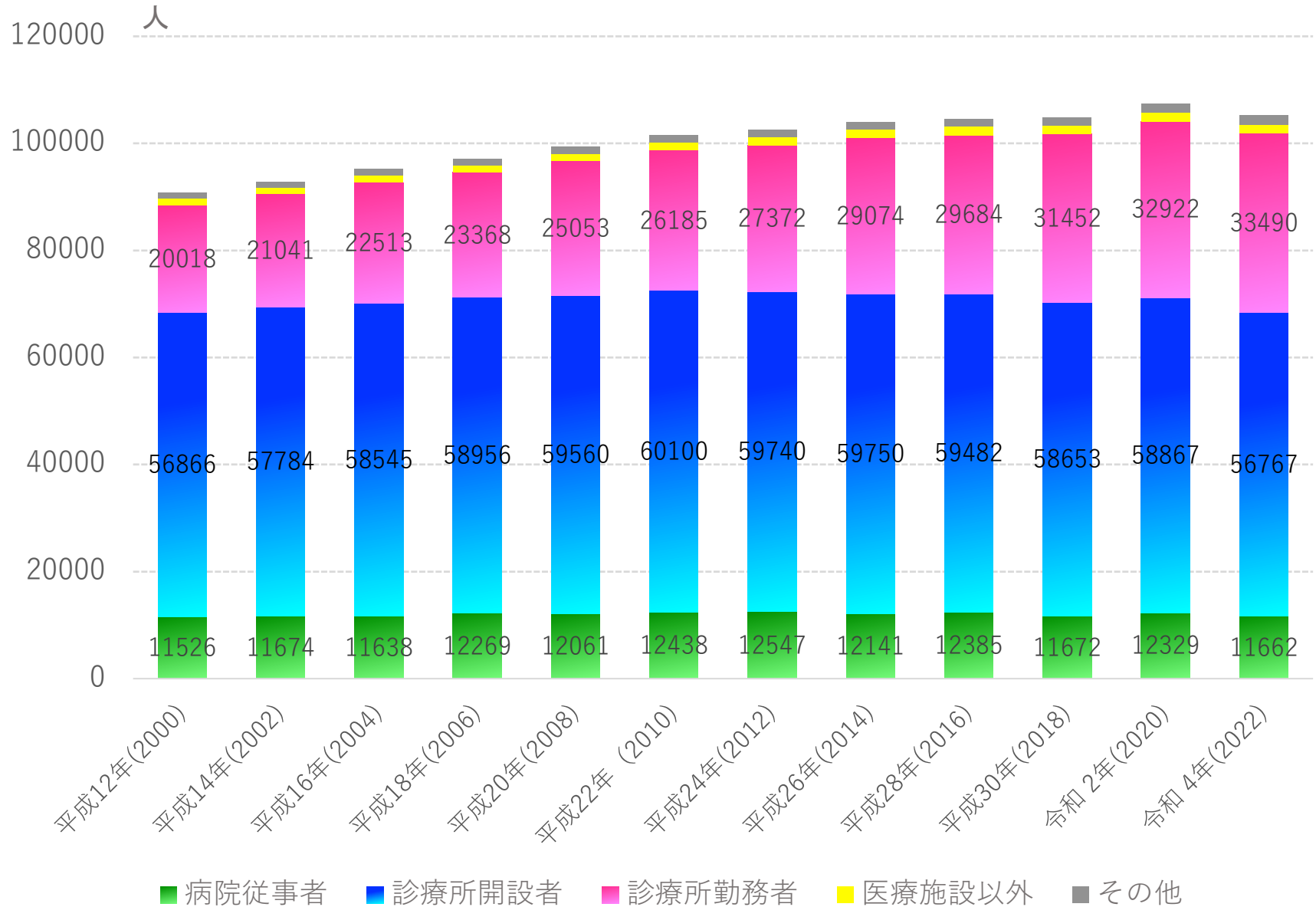
歯学部のある都道府県	歯科医療機関数 (2022)
北海道	2805
岩手	552
宮城	1049
福島	841
新潟	1129
埼玉	3546
神奈川	4973
東京	10680
千葉	3182
長野	994
岐阜	952
愛知	3705
大阪	5446
岡山	997
広島	1511
徳島	423
福岡	3065
長崎	702
鹿児島	798
歯学部が設置されている都道府県の歯科医療機関数合計	47350
全国の歯科医療機関数合計	67764
歯学部が設置されている都道府県の歯科医療機関割合	69.9%

無歯科医地区の推移

	昭和59年	平成元年	平成6年	平成11年	平成16年	平成21年	平成26年	令和元年	令和4年
地区数	1,935	1,507	1319	1153	1046	930	858	777	784
人口	786,395	544,824	417,037	383,113	295,480	236,527	206,109	178,463	188,647

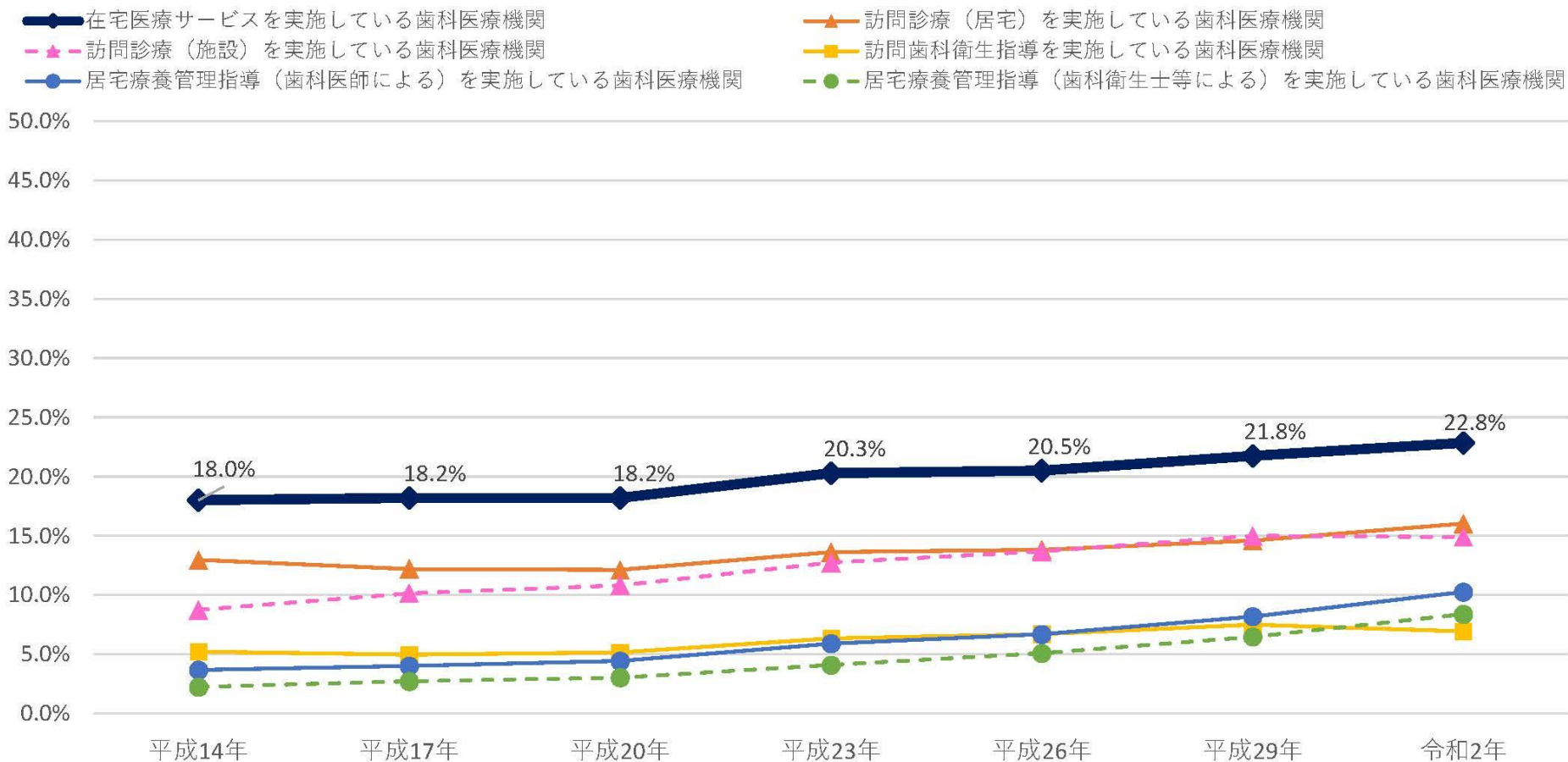


主たる業務の歯科医師数の推移



在宅医療サービスを実施している歯科医療機関の割合

○ 在宅医療サービス(訪問診療(居宅)、訪問診療(施設)、訪問歯科衛生指導、居宅療養管理指導(歯科医師)、居宅療養管理指導(歯科衛生士等)のいずれか)を実施する歯科医療機関の割合は、令和2年では歯科医療機関全体の約2割である。



出典:医療施設調査

※各調査年9月に、実施件数が1以上の歯科医療機関の割合

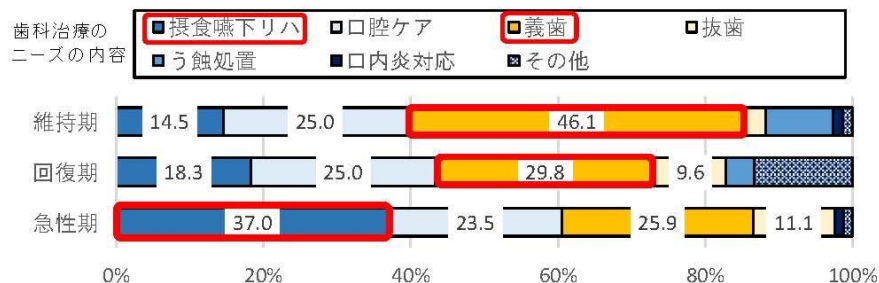
※令和2年の在宅医療サービスを実施している歯科医療機関の割合、訪問診療(施設)を実施している歯科医療機関の割合は、特別集計。

医療・介護における口腔管理の課題

- 口腔の状態は全身の疾患の影響等により変化するため、例えば脳卒中患者では、急性期では摂食嚥下障害への対応が、回復期や維持期では義歯への対応が多いなど、歯科治療のニーズも変化する。
- 回復期や生活期では歯科のかかわりが少ない場合も多く、転院により口腔機能管理が途切れる可能性がある。
- 入院により歯科治療や口腔管理が中断し、口腔内の状況の悪化や口腔機能の低下が進行することが指摘されている。

歯科治療のニーズ(急性期、回復期、維持期)

- 脳卒中患者で食事に問題のある高齢者に対する歯科治療のニーズとして、急性期では摂食嚥下障害への対応が、回復期や維持期では義歯への対応が多い。

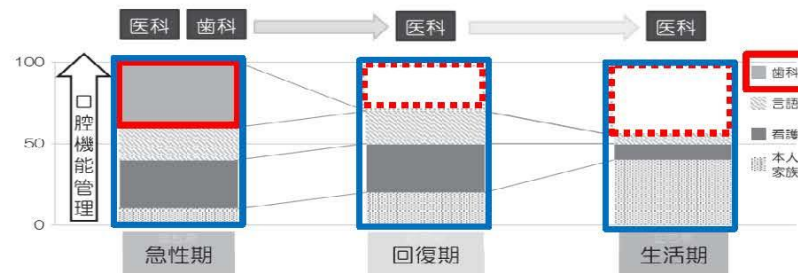


脳卒中と口腔機能 古屋純一 日補会誌 Ann Jpn Prosthodont Soc 12 : 309-315, 2020
 図「病気による歯科的ニーズの違い」を元に作図

出典: 脳卒中と口腔機能. 古屋純一. 日補会誌 Ann Jpn Prosthodont Soc 12 : 309-315, 2020

脳卒中患者における口腔管理の課題

- 回復期や生活期では歯科のかかわりが少ない場合も多く、転院により口腔機能管理が途切れる可能性がある。
- また、回復期や生活期においては、口腔機能管理の提供量は減少する。



地域と多職種でつなぐ脳卒中患者の口腔機能管理 古屋純一. 老年歯科医学 34 27-33 2019
 図 脳卒中患者における口腔機能管理の問題を元に作図

出典: 地域と多職種でつなぐ脳卒中患者の口腔機能管理. 古屋純一. 老年歯科医学 34 27-33 2019

在宅歯科医療の課題

在宅歯科医療に関する現状と課題

- ▶ 在宅歯科医療に関して、**医科歯科連携の推進、歯科医療と介護との連携の推進及び歯科医療機関間(歯科診療所間、病院歯科と歯科診療所)における連携の強化**が課題である。
- ▶ **入院により歯科治療や口腔管理が中断し、その間に口腔内の状況の悪化や口腔機能の低下が進行することが多く、退院後に「痛くて食べられない」等の訴えがでて初めて、家族やかかりつけ医からかかりつけ歯科医に連絡が入り、治療を再開するケースが多い。**
- ▶ **要支援・要介護高齢者の口腔内の状況は良好とはいえないことが多く、潜在的な歯科医療や口腔ケア等のニーズがあると考えられるが、患者からの訴えがない場合はそのニーズを把握することが難しいため、介護支援専門員等も含めた要支援・要介護高齢者に関わる他職種との連携が必要**である。

出典: 在宅歯科医療の充実に向けた議論の整理(在宅歯科医療の提供体制等に関する検討会報告書、令和元年6月10日)

十和田市立中央病院と上十三歯科医師会の地域連携 「十和田モデル」の例

歯科標榜
なし

十和田市立中央病院

● 口腔ケア・嚥下リハビリチーム

- 歯科衛生士
- 医師
- 看護師
- PT
- OT
- ST
- 管理栄養士
- 薬剤師

● 地域医療連携室

上十三歯科医師会

● 歯科医師会事務局

← 歯科ラウンド

← 歯科往診依頼

← 歯科往診

← 周術期口腔機能管理

← 合同会議

訪問診療

在宅・施設

訪問診療

出前講座、歯ッピー教室

地域合同研修会企画

出前講座：在宅医療連携拠点事業の一環で行っている啓発活動。歯科衛生士による出前講座は年間2～3回ほどで、地域での口腔ケアの普及を目的にしない介護施設に赴き、介護職員を対象に、主に実技指導を行う。

歯ッピー教室：地域包括支援センターが行う介護予防教室。介護従事者や65歳以上の市民を対象とし、歯科衛生士は年3回ほど講師として派遣される。主な内容は、ブラッシング方法、義歯の手入れ、咀嚼力判定、お口の体操など。

ケアマネやヘルパーなど
多職種により実施

スタディグループ
「上十三歯援隊（しえんたい）」

歯科訪問診療の需要に対応すべく
2014年5月に立ち上げ。
現在は歯科衛生士をはじめとする
スタッフも参加し、よりよい歯科診療
提供のために研鑽を積んでいる。

連携によるそれぞれの
メリット

患者さんのメリット

外来を含め、病院全体の口腔ケアに対する意識が高まり患者さんやご家族もその重要性が認識できる

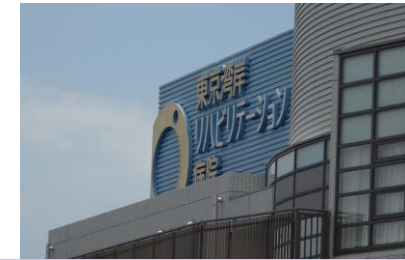
病院のメリット

歯科を開設・維持するための投資の必要がなく、さまざまな歯科医師が関与するため、各歯科医院の専門（得意）分野に合わせた患者紹介や相談ができる

歯科医院のメリット

さまざまな既往を有する高齢者を入院中から認知することで、退院後も施設や在宅でスムーズな加療を行える

リハビリ病院との退院時の共同指導モデル事業 東京湾岸リハビリテーション病院(160床)



リハビリ病院で患者さんに入院時にアンケート
訪問業者or地元かかりつけ歯科医を選ぶ

訪問業者
終了

かかりつけ歯科医・地元の歯科医院

訪問申し込み用紙に記載し歯科医師会にFAX

歯科医師会がかかりつけ歯科医に訪問の可否を確認

可能

不可

かかりつけ歯科医

協力歯科医に訪問を依頼

FAXにて東京湾岸リハビリ病院と
訪問日時の調整

自宅での訪問歯科診療の継続

退院後の訪問日時予約の確認

退院時の共同指導を経て在宅訪問診療へ

本人
家族

主治
医

歯科
医

MSW

看護
師

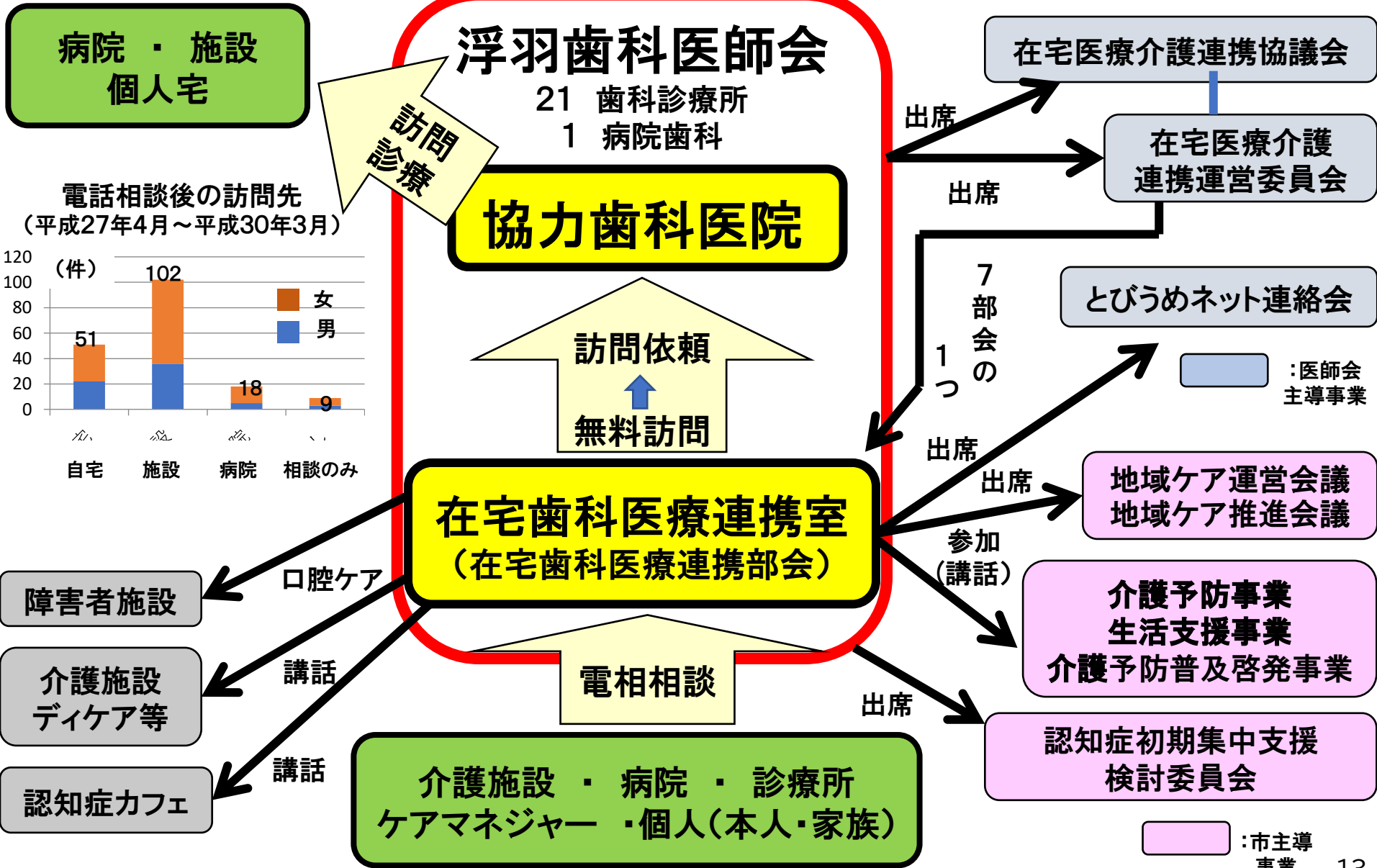
ケアマ
ネ

ST・
PT

訪問
業者

リハビリ病院に入院時から訪問診療

浮羽歯科医師会 在宅歯科医療・介護に関する取り組み



新たな地域医療構想に向けた課題

- ◎ 歯科医療機関の地域偏在と減少・無歯科医地区の増加
- ◎ 歯科医師の就業先の変化(勤務医の増加)
- ◎ 訪問歯科診療を行っている歯科医療機関は約2割にとどまっている
(過疎地や中山間地域を含め、在宅歯科医療の提供が困難)
- ◎ 障がい児(者)や医療的ケア児(者)、有病者、要介護者への口腔健康管理の提供体制の未整備
- ◎ 各地域における医科歯科連携、多職種連携の整備
- ◎ 就業する歯科衛生士・歯科技工士の不足

新たな地域医療構想に期待すること

- 人口の減少や構造を踏まえた、歯科医療提供体制の確保・整備
～誰一人取り残さない歯科医療・在宅歯科医療の展開～

※医療インフラが整備されていない地域(特に無歯科医地区や過疎地、中山間地域を含む都市部以外、歯科医療機関の減少地域)における人材を含めた歯科医療機能の維持・確保、歯科医療提供体制の整備

※地域の歯科診療所では困難な障がい児(者)や医療的ケア児(者)、有病者、要介護者等への口腔健康管理に資する環境整備

- 医科歯科連携、多職種連携の更なる推進

※医科病院における歯科機能の拡大や歯科診療所との連携、後方支援体制の構築に基づく歯科医療提供体制の確保

※入退院時から在宅・施設等に至るまで、地域の歯科診療所と医科病院、医科病院内等における医科歯科連携の構築

※ICT を利活用した多職種との連携の更なる強化